

様式 F - 7 - 1

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成26年度）

1. 機関番号 

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学

3. 研究種目名 基盤研究(C) 4. 補助事業期間 平成26年度～平成28年度

5. 課題番号 

2	6	3	8	0	6	9	6
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 「表現の自由」とヘイト・スピーチ法規制をめぐる社会学的研究

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
1 0 2 0 7 3 2 6	チョン ヨンヘ 鄭 暎恵	人間関係学部	教授

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
1 0 5 5 1 7 8 1	カク キカン 郭 基煥	東北学院大学・経済学部	教授
3 0 5 4 6 6 2 7	イ ソンヒ 李 善姫	東北大学・東北アジア研究センター	専門研究員
8 0 6 4 8 7 1 7	モロオカ ヤスコ 師岡 康子	大阪経済法科大学・アジア太平洋研究センター	研究員

## 9. 研究実績の概要

2014年4月12日、6月28日、9月27日、11月1日、2015年1月31日に開催された「ヘイト・クライム研究会」（主催：師岡康子・前田朗）に、李善姫・郭基煥・鄭暎恵が参加し、研究会前後の時間帯に、「表現の自由」とヘイト・スピーチ法規制をめぐる社会意識調査について打ち合わせを行った。2014年10月12日、青山学院大学国際交流共同研究センターシンポジウム「多文化共生の現在を問う」において、鄭暎恵が「ヘイト・スピーチ法規制問題と多文化共生」と題して報告を行った。同年10月19日、公益財団法人基督教イースト・エイジャ・ミッション富坂キリスト教センター「沖縄における性暴力・軍事主義」研究会において、「ヘイト・スピーチと心的外傷～植民地支配、戦争、性暴力、グローバル化～」と題して鄭暎恵が報告を行った。2015年3月21日、東北学院大学にて開催された「文部科学省「地（知）の拠点整備事業」関連シンポジウム」を郭基煥が主催し、鄭暎恵が「ヘイトスピーチと現代社会」と題して報告した。

2014年9月～12月にかけて、「表現の自由」とヘイト・スピーチ法規制をめぐる社会意識に関する調査の調査票を作成し、12月末に大妻女子大学・生命科学研究倫理委員会に審査申請を行い、2月9日に承認された。それに基づき、3月9日・10日に新宿区、3月24日に仙台市、3月30日～4月1日に京都市で、それぞれの選挙人名簿より、1000名ずつ計3000名をランダムサンプリングした。3月下旬～4月上旬にかけて調査票を発送した。

2015年9月に、日本カナダ学会と共催でKent Roach氏（トロント大学教授、憲法学者）を招き、「多文化主義と表現の自由 ヘイト・スピーチをめぐる」と題するシンポジウムを企画し準備を進めている。